

令和7年12月17日

福島大学金谷川キャンパスが 環境省「自然共生サイト」に認定されました

このたび、福島大学金谷川キャンパスは2025年12月16日付けで、福島県内では6件目、福島市内では初となる環境省が推進する「自然共生サイト」に認定されました。

本制度は、ネイチャーポジティブに向けた民間等の活動を更に促進するため、2025年4月に施行された「地域生物多様性増進法」に基づき、企業やNPO等が作成・実施する「増進活動実施計画」が、主務大臣（環境大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣）により認定されます。認定をうけた増進活動実施計画の実施区域が、本法に基づく「自然共生サイト」となります。

認定された区域はOECM（Other Effective area-based Conservation Measures：保護地域以外で生物多様性保全に資する区域）として位置づけられ、国際データベースにも登録されます。

福島大学が移転してきた1979年以前は、金谷川キャンパスのある場所は里山として地域の人々に利用されていました。その当時の自然環境は、現在も豊かに残されています。構内には雑木林や草地、水辺など多様な生態系が広がり、植物相は植栽されたものを除くと300種、昆虫相はチョウ類、トンボ類、セミ類、ツノトンボ類などが50種、鳥類相は2025年時点で15種、さらに環境省レッドリストに掲載されているオオムラサキ（チョウ目）やキンラン（ラン科植物）などの希少な動植物も確認されています。

本学ではこれまで森林周辺の下草刈りや外来種駆除など保全活動を実施してきた他、共生システム理工学類、食農学類の教員を中心にキャンパス内の自然環境の保全と教育および研究活動への活用を実施してきました。こうした取り組みが評価され、今回の認定に至りました。

今後も福島大学はキャンパスの自然環境を教育・研究・社会貢献に活かし、「人と自然の共生」を体現する大学として、持続可能な地域づくりと国際的な生物多様性目標の達成に貢献してまいります。

【認定の概要】

認定計画名：福島大学金谷川キャンパス自然共生サイト登録区域保全・活用計画

(Conservation Plan of Fukushima University Kanayagawa Campus OECM area)

場所：福島大学金谷川キャンパス（福島市金谷川1番地）

※認定区域は別紙参照

面積：17.8ha

認定期間：2025年12月～2030年11月

【参考：自然共生サイトとは】

2022年12月の生物多様性条約締約国会議で採択された新たな世界目標（昆明・モントリオール生物多様性枠組）に基づき、日本政府は生物多様性の損失を止め回復させる「ネイチャーポジティブ」の実現を目指しています。この実現に向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として保全する「30by30目標」が掲げられています。この30by30目標達成のため、2025年4月施行の「地域生物多様性増進法」に基づき、企業・NPO等による活動計画や、市町村連携による活動計画が主務大臣（環境・農林水産・国交大臣）により認定され、その実施区域が自然共生サイトとなります。自然共生サイトのうち、保護地域を除いた区域は、OECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する区域）として、国際データベースに登録されます。

（広報に関すること）

福島大学 総務課 広報・渉外室

電話 024-548-3180

メール kouho@adb.fukushima-u.ac.jp

（認定の内容に関すること）

福島大学金谷川キャンパス生物多様性・保護活用研究所

電話 024-548-8432

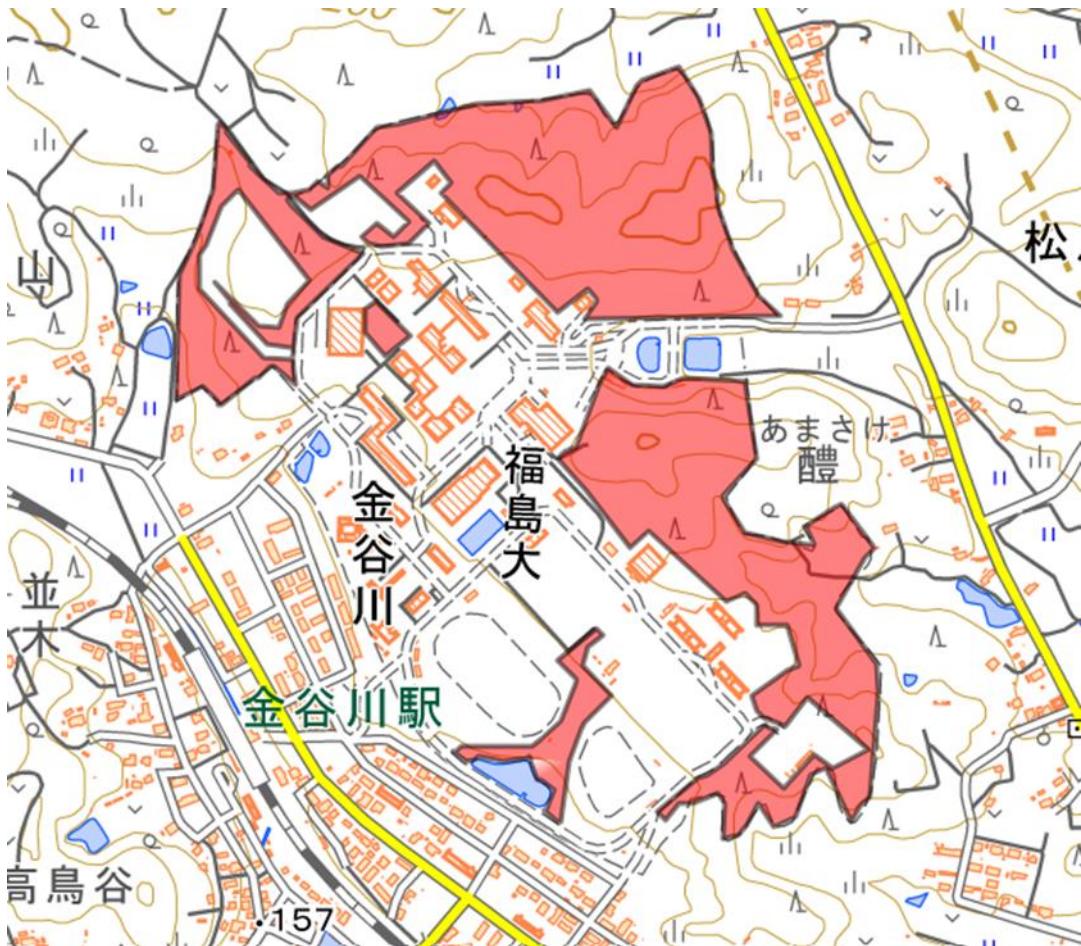
メール fujino@agri.fukushima-u.ac.jp

（認定の申請に関すること）

福島大学事務局施設課

電話 024-548-8021

認定区域



国土地理院「地理院地図（電子国土 Web）」を加工

計画内容

1. 保全

- ・二次的な自然環境を維持しつつ、利用者の利便性を図るため、林縁の草刈りを実施する。林縁の草刈りはヤマユリの開花後に実施する。
- ・絶滅危惧種等希少種を保護するため、生息場所周辺の立ち入りを制限する。
- ・サイト内に侵入したクズ、アレチウリ等の手作業による防除を実施する。
- ・松食い虫の防除を実施する。

2. 活用

- ・人間と生物の共存を考える教材として、学生、教職員を対象とした自然観察会を開催する。
- ・地域住民を対象とした自然観察会を開催する。
- ・生物多様性を活かした教育、研究を実施する。

キャンパス内の生物



ギンラン
(福島県レッドデータブック 準絶滅危惧種)



オオムラサキ
(環境省レッドリスト 準絶滅危惧種)



シュンラン



カタクリ



コナラ林



アカマツ林